



TITLE:

<羽田博士追悼録> 羽田博士著作目録

AUTHOR(S):

---

CITATION:

<羽田博士追悼録> 羽田博士著作目録. 東洋史研究 1955, 14(3): 81-84

ISSUE DATE:

1955-11-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/139041>

RIGHT:

# 羽田博士著作目錄

著書

書名 發行所 發行年月

中等東洋史教科書 富山房 大正五年十月

元朝驛傳雜考 東洋文庫 昭和五年九月

西域文明史概論 弘文堂 昭和六年四月

右は中華民國に於て鄭元芳、錢稻孫兩氏により漢譯せられ、同じく「西域文明史概論」と題して發行せらる。

東洋史教授資料 富山房 昭和七年十一月

滿和辭典 京都帝國大學 昭和十二年十二月

西域文化史 座右寶刊行會 昭和二十三年六月

編修・監修書

大唐西域記・同考異索引  
(京都帝國大學文科大學叢書第一)  
學京都帝國大學 明治四十年十月

敦煌遺書第一集  
(影印版及活字版)佛國ポ  
ール・ベリオ氏と共に編  
東亞政究會 大正十五年十二月

神論卷三  
合綴序聽迷詩所經一卷  
京都研究學院所 昭和六年十月

大唐大慈恩寺三藏法師傳  
(附錄同考異索引)  
京都研究學院所 昭和七年十一月

明代滿蒙史料、明實錄抄  
蒙古篇  
日滿文化協會 昭和十八年十二月

論文

題目

蒙古の宗教的風俗習慣

蒙古族の宗教的風俗

蒙古驛傳考

ベリオ氏の中央亞細亞旅行  
我國に傳はれる波斯文に就いて

漢譯の佛典に就て  
大谷伯爵所藏新疆史料解説

京都語の回體碑文  
新出波斯教殘經に就いて

帖木兒と永樂帝  
二樂叢書第一號を讀む

開國百年記念  
治文化史論集

鎖國時代日本人の海外智識  
——世界地理 西洋史に關する文獻解題

明治文化史 全十四卷  
(既刊九冊)

日米文化交渉史 全六卷  
(既刊一冊)

飛鳥奈良時代の文化

乾元社 昭和二十七年十一月

乾元社 昭和二十八年三月

洋洋社 昭和二十八年十二月

洋洋社 昭和二十九年三月

武田藥品工業株式會社 昭和三十年五月

掲載雜誌書 發行年月

東洋哲學 二四七九 明治四十年八月・十月

禪宗 一七〇 明治四十二年一月

東洋協會學術報告第一冊 明治四十二年十二月

藝文 一ノ四 明治四十三年七月

史學研究會講演集三 明治四十三年九月

藝文 二ノ四 明治四十四年四月

東洋學報 一ノ二 明治四十四年五月

藝文 三ノ一 明治四十五年一月

東洋學報 二ノ二 明治四十五年五月

藝文 三ノ一〇 大正元年十月

唐故三十姓可汗貴女阿那氏之墓誌

帖木兒大王

回鶻文の天地八陽神呪經

五體清文鑑

波斯國酋長回羅憐丘銘

回鶻文の佛典に就きて

站

最近露都通信

留美楊目也甫博物館藏經世大典(解說)

回鶻文の天地八陽神呪經

回鶻文法華經普門品斷片

附 回鶻文の天地八陽神呪經補遺

遼金時代の札軍に就いて

「再び遼金時代の札軍に就いて」を讀む

西域考古圖譜(國華社發行)

西遼建國の始末及び其年紀

回鶻文女子賣渡文書

北方民族の間に於ける巫に就いて

龜茲・于闐の研究

華夷譯語の編者馬沙亦黑

元朝秘史に見ゆる蒙古の文化

東洋學報三ノ一 大正 二年 一月

新日本 三ノ一 大正 二年 一月

藝文 四ノ二 大正 二年 二月

藝文 四ノ八 大正 二年 八月

東洋學報三ノ三 大正 二年 十月

史學雜誌三ノ六 大正 三年 六月

經濟大辭書 六 大正 三年 七月

藝文 五ノ十 大正 三年 十月

藝文 五ノ十一 大正 三年 十一月

東洋學報三ノ二 大正 四年 二月

東洋學報五ノ三 大正 四年 九月

藝文 六ノ九 大正 四年 九月

史學雜誌三ノ一 大正 五年 一月

史林 一ノ二 大正 五年 一月

史林 一ノ二 大正 五年 四月

東洋學報六ノ二 大正 五年 五月

藝文 七ノ一二 大正 五年 十二月

史林 二ノ三 大正 六年 七月

東洋學報七ノ三 大正 六年 九月

藝文 八ノ一二 大正 六年 十二月

軌近に於ける東洋史學の進歩

敦煌發見の景教經典一神論(解說)

北方亞細亞に於ける遊牧民の社會生活

九姓回鶻とToguz Ouzsとの關係を論ず、同補遺

ラードロフ博士

英京の一隅より

中亞探險

ルコック氏著摩尼教遺文卷三

羅迦牟尼如來像法滅盡文記(解說)

漠北の地と康國人

書後(石濱純太郎「法成に就いて」に關して)

漢番對音千字文の斷簡

トルコ族の間に於ける佛敎

天と祇と祁連と

契丹文字の新資料

敦煌の千佛洞に就いて

回鶻譯本安慧の俱舍論實義疏

景教經典序聽迷詩所經に就いて

史林三ノ一・二 大正 七年 一・四月

藝文 九ノ一 大正 七年 一月

亞細亞時論 二ノ三 大正 七年 三月

東洋學報九ノ一 大正 八年 一月

藝文 一〇ノ七 大正 八年 七月

藝文 一一ノ八 大正 九年 八月

大阪朝日新聞(新西域記所收) 大正 十一年 十一月

藝文 一四ノ一 大正 十二年 一月

史林 八ノ一 大正 十二年 一月

支那學 三ノ五 大正 十二年 二月

支那學 三ノ五 大正 十二年 二月

東洋學報三ノ三 大正 十二年 八月

宗教研究五ノ六 大正 十二年 八月

史林 九ノ一 大正 十三年 一月

史林 一〇ノ一 大正 十四年 一月

佛教美術 四 大正 十四年 九月

白鳥博士還曆記念 東洋史論叢 大正 十四年 十二月

內藤博士還曆記念 支那學論叢 大正 十五年 五月

讀書漫錄

敦煌千佛洞の營造に就いて

元朝の漢文明に對する態度

支那北族諸朝と漢文明  
景教經典志玄安樂經に就いて

元朝の海青牌

大月氏及び貴霜に就いて

唐光啓元年書寫沙州、伊州地志殘卷に就いて

吐魯番出土回鶻文摩尼教徒祈願文の殘簡

西域文明史概論

舞樂の渾脱といふ名稱につきて

史料蒐集家としての内藤博士

成吉思皇帝聖旨牌

中央亞細亞の文化

宋元時代總説

レギ博士の憶出

清文鑑和解、滿語纂編解説

史林 一一ノ四 大正十五年十月

歴史と地理 二〇ノ二 昭和二年八月

狩野博士還曆記念 支那學論叢 昭和三年二月

支那一九ノ一〇 昭和三年十月

東洋學報六ノ一 昭和四年八月

考古學論叢 二 昭和五年六月

史學雜誌三ノ九 昭和五年九月

小川博士還曆記念 史學地理學論叢 昭和五年十月

桑原博士還曆記念 東洋史論叢 昭和五年十二月

德雲一ノ一二ノ二 昭和四年十一月—六年二月

市村博士古稀記念 東洋史論叢 昭和八年八月

支那學 七ノ三 昭和九年七月

歴史と地理 三四ノ四・五 昭和九年十二月

岩波講座東洋思潮第十四回 昭和十年十二月

世界文化史大系 宋元時代 昭和十年九月

東洋史研究 一ノ三 昭和十一年二月

東洋史研究 一ノ六 昭和十一年八月

中亞史研究資料の採訪

莫斯科抄書の思ひ出

燦たり成吉思汗—蒙古族の興起と世界—

塞北行紀の一節

貴志君を憶ふ

「異胡」名義考

濱田君の追憶

懸超往五天竺傳彙錄

白鳥博士の思出

漢民族の同化力説に就いて

東方文化研究所と狩野博士

我が國の東方學とベリオ教授

書拔きを搜しながら

隋唐時代の文化

大秦景教大聖通真歸法讚及び大秦景教宣元至本經殘卷について

樹下人物圖について

—博物館新收品—

學燈四ノ九 昭和十一年九月

文藝春秋二四ノ二 昭和十一年十月

大阪毎日新聞 昭和十三年一月三日

東洋史研究 四ノ四・五 昭和十四年六月

德雲 五ノ四 昭和十一年十二月

池内博士還曆記念 東洋史論叢 昭和十五年三月

濱田先生追悼錄 紀元二千六百年記念史學論文集 昭和十四年十月

東洋史研究 七ノ二・三 昭和十六年四月

東洋學報元二・四 (白鳥博士記念論文集) 昭和十七年七月

東方學 五 昭和十九年一月

東光 五 昭和二十三年四月

東洋史研究 一〇ノ三 昭和二十三年七月

文藝春秋 二六ノ一一 昭和二十三年十一月

世界美術全集八 昭和二十五年十二月

東方學 一 昭和二十六年三月

Museum 二 昭和二十六年五月

トルコ文華嚴經斷簡

飛鳥奈良朝の文化(總説)

關西大學東西學  
術研究所論叢第  
六(石濱先生還  
曆記念論文五)

昭和二十八年九月

昭和三十年五月

歐 文 著 作

A propos d'un texte fragmentaire de prière manichéenne en  
ouïgour provenant de Tourfan.

Memoirs of the Research Department of the Tōyō Bunko  
(Oriental Library) No. 6. Tōkyō, The Tōyō Bunko, 1932.

A propos des Ta Yue-tche et des Kouei-chouang.

Bulletin de la Maison Franco-Japonaise, Tome IV, N°1-4.  
Tōkyō, La Maison Franco-Japonaise. 1933.

Une tablette du décret sacré de l'empereur Genghis.

Memoirs of the Research Department of the Tōyō Bunko  
(Oriental Library) No. 8. Tōkyō, The Tōyō Bunko, 1936.